

事業シート（概要説明書）

担当課名		企画振興課	予算事業名	北栄町観光協会補助金			
担当係名		商工観光室	上位施策 事業名	観光振興事業			
シート作成責任者		永田 裕一					
事業開始年度		H 1 7	根拠法令	北栄町補助金等交付規則			
実施方法		☐ 直接実施					
		☐ 業務委託又は指定管理（委託先又は指定管理者：					

事業シート（概要説明書）

担当課名	企画振興課	予算事業名	北栄町観光協会補助金			
担当係名	商工観光室	上位施策 事業名	観光振興事業			
シート作成責任者	永田 裕一					
平成22年度 事業費内訳	県外旅行会社売り込み訪問等旅費		267,000円			
	名探偵コナンと巡る由良宿まち歩きラリー		200,000円			
	青山剛昌ふるさと館レンタサイクル		100,000円			
	特産加工品PRイベント		200,000円			
	ほくえい味覚めぐり		434,000円			
	誘客宣伝イベント参加		50,000円			
	観光関係団体等負担金		116,000円			
	事務費、予備費		90,000円		計1,457,000円	
平成22年度 事業目標	青山剛昌ふるさと館との連携によるイベント開発及び実施、農産物や重要文化財を活用した着地型観光メニューの造成に努める。地元特産加工品のPRイベント開催で、消費拡大を図る。園場での収穫体験『ほくえい味覚めぐり』のPRを図る。造成した観光メニューやイベント等を県外旅行会社へ売り込み、誘客宣伝活動に努める。					
過去3年度の 事業実績	活動指標名		単位	H19年度	H20年度	H21年度
	名探偵コナンと巡る由良宿まち歩きラリー参加者数		人	962(35日間)	4,244(43日間)	3,225(44日間)
	着地型観光メニュー『大栄スイカ食べ放題ツアー』受け入れ		人	—	62	186
	北栄町ジゲの食材を楽しむ会参加者数（平成22年度見直し）		人	106	67	65
	先進地視察参加者数（平成22年度見直し）		人	17	13	10
	県外誘客イベント参加、旅行会社訪問回数		回	2	6	5
過去事業の 自己評価	観光振興を図る上で、地元の観光素材を地元住民が認識するという前提の取り組みが多く、結果として町外への広いPRが不足していた。このため、本町の観光魅力を幅広くPRするという観点で、効果の乏しい取り組みは見直し、新たな取り組みを進めつつある。特に、誘客ツールとして地元の観光素材を掘り起こした着地型観光メニューを、近隣市町の事例を参考に、県や地元関係者の支援、協力を得ながら2つ造成した。また、造成した観光メニューや青山剛昌ふるさと館等の売り込みのため、県外旅行会社を訪問して誘客活動に取り組んでいる。					
来年度以降の 予定・目標	今年度中に造成する着地型観光メニュー「国重要文化財観音立像特別限定公開」の売り込みを進めるとともに、既存観光メニューの磨き上げ、一層の宣伝活動により、観光入込客数の増加を図る。併せて、特産農産物を素材とした新たな着地型観光メニューの企画、造成を進め、誘客ツールの充実を図り、集客につなげる。					
比較参考値 (他自治体での類似 事業の例など)	(市町観光協会名)		(H22予算・補助金のみ)			
	倉吉市観光協会		3,513千円			
	三朝温泉観光協会		7,000千円			
	琴浦町観光協会		773千円			
	湯梨浜町観光協会		4,700千円			
特記事項 (事業の沿革等)	昭和62年に観光事業の振興を目的に大栄町観光協会として発足。 平成17年12月に、北栄町観光協会として改称。 平成19年3月に開館した青山剛昌ふるさと館を町内観光の核として、誘客活動に取り組む。 平成20年度以降、特産農産物等を素材とした着地型観光メニューを造成。大栄西瓜や砂丘地メロンを素材にメニュー造成し、ツアー客の誘致、宣伝活動を進めている。					